

製造に應用せられたことを一言したい。千八百七十二年アドルフ・バイエル氏はフェオルマリンと石炭酸の縮合体を発見したか實用せらるゝに至らず興味ある問題として多くの人々によりて研究せられ遂に千八百〇九年米人ペーランド氏によりて實用的製造に成功し其製品を「ペーランド」に稱するに至りたる今日、蘇甲にしては値段安くセルロイドにしては燃えないものは此ペーランドの製品である。喫煙パイプ、傘の柄其他随分廣大の用途を有してゐる。我國の研究者は佐藤博士で千八百二十年日本特許を得て居らるゝ、大阪工業研究所で其新方法を案出して同業者に貢献してゐる。其溶解性のあるものはニスに代用し得るものである。其耐熱性のあるものは染色上に何か用途を見出す様に思はれる。

以上述べる所頗る概括的のものであるが讀者のために何等かの暗示となり新應用法を案出せられたらば幸である。

最近の報道によると獨逸國バジレ會社は一般化學素と水素とを直接化合せしめてメチルアルコールの合成に成功し一ヶ年五千噸の產額に達することである。従つて昨年まで木材の乾燥によりて造りたるメチルアルコール一噸の値約千圓でありたるのが今日では一噸五百圓に下落し其製造者は尙莫大の利益を得ると云はるゝからまだ下落しやうと從てメチルアルコール

その用途として有名な
ペーパライト

組合ノ目的ニ關シ規定ナキ國アルモ之ヲ限定セルモノハ
イ、産業的目的ヲ有スルモノニ限ル
ロ、佛國、匈牙利、波蘭、ルーマニア、セキア、クロアチヤ、セルビア、ブラジル
ハ、伊太利ノ産業上ノ利益保護及其經濟狀態ノ改善ヲ目的トシタルモノニ限ル
ハ、政治的目的ニ關シテハ
イ、英國、組合主義一定ノ條件ヲ具備スル場合ニ限り政治的行爲ニ進ブルコトヲ認メ
イ、何等形式ノ條件ノ具備ヲ要セザルモノ
ロ、英國、白耳義、伊太利、リトアニア、捷克斯ラフ、希臘、米國、
ハ、獨逸ヲ要スルモノ
ロ、西班牙(規約)、ラトヴィア(役員氏名) 佛國(規約及役員氏名) 挪威(規約、
役員氏名、役員選拔役員氏名役員選舉ヲ行ヒタル會合ノ議決案及會員數) 諸威(規約、
役員氏名、役員選拔役員氏名役員選舉ヲ行ヒタル會合ノ議決案及會員數)
ハ、認可ヲ要スルモノ
ロ、エストニア及リトアニア(規約及役員氏名ヲ治安判事ニ提出シ其ノ審議ノ結果
認可ヲ受ケルモノ) 匈牙利(豫メ規約草案ヲ內務大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケルモノ)
イ、勞働組合ニ對シテ課税
ハ、歐洲、ブラジル、セルビア、チエフコスロバキア、獨逸、ルーマニア、
ロ、佛國、白耳義、米國、チエフコスロバキア、獨逸、ルーマニア、
ハ、得タル收入ニ對シテ納税義務アリ 芬、蘭、組合員ノ義務ニ基キ徵收スル稅
ヲ對シテハ無稅 英國、銀行預金、投資、抵當及財產ノ生ズル收益ニ對シテハ
收入稅ヲ課シ年末ニ共濟、惠與ノ爲メ支出シタル額ヲ控除ス 瑞西(疾病、保
險ノ爲メニ供セラル、資金ニ對シテハ免稅)
イ、結社ノ自由ニ關シテ
ハ、米國(勞働者ガ組合員タル理由ニヨリ解雇スルハ適法ノ手段トシテ使用ガ勞働者
合ニ加入セザルハ約スル契約ハ有効ナリ、加之組合員加入セザルコトヲ約
シタル勞働者ニ對シテ組合員ニ加入スル義務宣傳スルハ行フ 地方法ナリトスル最高裁
ノ判決アリ 瑞西(米國程ニ極端ナラザル大體同一主義)
ハ、英國及和蘭、契約自由ノ原則ハ結社自由ノ原則ニ優ルモノトシ、
組合員タルハ權利ヲ唯一見ル明白ナル理由トシテ之ヲ罷止シ又ハ雇人ヲ拒絕
ハ、結社ノ自由ヲ以テ絕對不可侵トスルモノ 佛國
ハ、白耳義、獨逸、ルーマニア、チエフコスロバキア
イ、組合員ノ義務
ハ、報告ノ義務
ハ、西班牙(官廳ノ要求ニヨリ組合員名簿)
ハ、波蘭(毎年總會ニ提出スル報告ト同一モノ)
ハ、集合ノ届出
ハ、會計檢査
ハ、組合ノ解散
ハ、解散命令ニ關スル主義
ハ、白耳義(法人格アルモノハ例外) 英國(解散命令規定ナシ)
ハ、瑞西(重大ナル一般法規違反ノ場合) 佛國、希臘、ルーマニア、匈牙利(結
ニ關スル一般法規違反ノ産業上ノ組合ニ關スル特別法規ニ違反ノ場合)
ハ、和蘭(公益ノ爲メ又ハ秩序保持ノ必要アル場合)
ハ、解散ノ手續
ハ、行政命令ヲ以テスルモノ 匈牙利
ハ、多クノ國ニ於テハ判決ヲ以テスルヲ通則トス
ハ、結社ノ停止
ハ、獨逸(公安ニ害アル時) 丁抹、ラトヴィア、リトアニア(事件ノ審理ヲ終ルマデ
一時停止ヲ命スルコトヲ得) 瑞西
ハ、解散命令ニ對シテ不服アリ得ルモノ
ハ、佛國、匈牙利

科目	支出ノ部	前年度豫算	本年度豫算	備考
第一款 組合經費		一、一八、一八〇・〇〇	一、一八、一八〇・〇〇	
一 項 等級割		一、一八、一八〇・〇〇	一、一八、一八〇・〇〇	
二 項 戶數割		六、八、四〇〇・〇〇	六、八、四〇〇・〇〇	一率貳拾四錢五万九千六百四十二一 一戶貳拾錢 三千二百九十一戶
第二款 雜收入		一、一八、一八〇・〇〇	一、一八、一八〇・〇〇	
一 項 証票料		一〇〇・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	組合員新加入証票料及職工徒弟登記料
二 項 廣告料		三〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇	月報廣告掲載料
三 項 雜越金		六、八、四〇〇・〇〇	六、八、四〇〇・〇〇	前年度剩餘金繰越金
四 項 各種雜收		一〇〇・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	第二支那ヲ事務費補助收入
五 項 過年度收入		一〇〇・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	前年度息納收入見込
合計金		一、一八、一八〇・〇〇	一、一八、一八〇・〇〇	
第一款 勸業費		四、〇〇・〇〇〇	四、〇〇・〇〇〇	
一 項 勸業獎勵費		三〇・〇〇〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇・〇〇〇	博覽會觀技會費補助其他職工縫表染色 調查染業視察費
二 項 聯合會費		一、三〇・〇〇〇	一、三〇・〇〇〇	重要物產聯合會費
三 項 補習學校費		三〇・〇〇・〇〇	三〇・〇〇・〇〇	徒弟夜學教員外諸雜費
四 項 月報費		四、〇〇・〇〇〇	四、〇〇・〇〇〇	組合月報印刷原稿料及配達料
第五款 試驗場費		一、六〇・〇〇〇	一、六〇・〇〇〇	
一 項 技師給		六、〇〇・〇〇〇	六、〇〇・〇〇〇	技師一名月八拾圓
二 項 試驗原料費		一、五〇・〇〇〇	一、五〇・〇〇〇	農料藥品及試驗生地其他
三 項 研究費		一、〇〇・〇〇〇	一、〇〇・〇〇〇	農料藥品及試驗生地其他

[illegible]

毛織物に發生すべき害虫に就て

毛織物に發生すべし。害虫は昆蟲學上に於ては標本蟲、人參蟲、腰蟲、小衣蛾、毛氈蛾等ありと雖も陸軍被服廠に於て余の實地研究の結果は普通ひめよるかつを蟲、「ひめかつを蟲」及「衣蛾」の三種に限れるものゝ如し。

「ひめまるかつを蟲」「ひめめかつを蟲」「衣蛾」は何れも世人が普通知るところの家畜の生育と畧々同一の狀態にして三種の蟲とも其の越年せるものは三四月頃より其の害を始め五六月頃蟻時代に廻り「ひめまるかつを蟲」は時機に依り然らず一週内外にして成蟲となりて飛翔す此時期に於ては食害することなければども毛織物を貯蔵せるの場所に襲來し其の害を以て大なる注意を要す其の發生はひめまるかつを蟲「衣蛾」にあつては毎年二回にして「ひめめかつを蟲」は二年毎に一回なり成蟲は雄雌別れて雄は比較的雄蟲より形大なり其の越冬の狀態たるや恰も蠅の如く交尾を終りたる雄蟲は間もなく産卵を始め一週内外にして死滅す普通完全なる成蟲の産卵数は三〇個内外にして何れも殆んど楕圓形にして白色なり「ひめめかつを蟲」は稍々扁平にして比較的大なり

然るに個人未だ斯の如き事實に想到して之に對し多大の注意を拂はざるものあるが如きは實に遺憾の極なり殊に害蟲が最も嗜好すべき羅紗、モスラン、セイル、毛皮類等を多量に貯蔵せる場所に於ては極力之が侵入を防止し以て其の被害を未然に豫防せざる可らず尙假り右害蟲が存するや否やを認識するの腦力を有し一匹の成蟲を發見し之を撲殺したりとせば即ち三〇匹の成蟲之を一ヶ年に見置れば六七五〇匹を撲殺したるに同じく最初一〇匹の成蟲を捕へたりとせば六七、五〇〇匹の幼蟲を捕へたるに同じく豈に之が注意を信從し以て多大の損害を未然に避くるの必要を感せずを得んや

驅除豫防法

此等發生の害蟲豫防法に就ては現今未だ完全なる方法を發見せず之れ其の發生狀態の極めて微細にして殆んど想像の及ばざる點あるを以てな

試験所記事

綿布のマーセライゼーションに就て

綿布のマーセライジング工程は綿布が機上を進行中にアルカリ液を通過せしむれば宜しいのであるが、煩瑣であるが此問題については多くの化学者の注意を惹いてゐる。私は化學上から工學上から此方法に就て考究して見やう。

一、体化學反應なるものは時間、温度、及濃度に關係して清長なるものと云へる。綿布のマーセライゼーションに於ても舊性普通と綿織物の間に起る化學反應に基くものであるから此事實にあてはまる。又與へられた化學反應に對して適當の狀況が實驗室で成案されたとしても失れを實際に應用して經濟的に遂行せんとせば工學的工夫を要するは云ふまでもあるまい。

研究

本誌のマーセライゼーションに就ての研究は多數に行はれてあり殊に工業的の目的に對する鐵心とアルカリの作用は十分に了解せられてゐる。

綿布のマーセライジング工程は綿布が機

マージェライビングに於て光澤を佳良ならしめる目的で苛性曹達溶液に種々藥品の添加がみられた。就中酸化曹達、ビスコース、膠及アルコールの類など用ひられたが何れも其結果は殊はしいのである。然るに食鹽、曹達灰、澱粉の如き不純物の存在する苛性曹達によりて得たものとの夫等を含まない苛性曹達によりて得た最も佳良な光澤のものとの比較するに前者に遠く及ばない事が明瞭となつた。

要するに綿布のマージェライビングを行ひ良い結果を得ようとする時は次の事項に注意を要する。

一、綿布は苛性曹達を平均に且充分浸透せしむる事。

二、苛性曹達の濃度をトリプル比重計五十二度より低下せしめざる様をして温度は華氏六十度を超えざる様持續する事。

三、苛性曹達は不純物を含まない事。

四、綿布は鹽アルカリ中に少なくとも一分時間接觸せしむる事。

五、伸縮は注意して行ひ布を裂かざる程度充分なる量を繰過す時は光澤を害ふものなる事。

はもとの鏡に似せ

六、布を破るに要する事。
七、布を破るに要する事。
八、布を破るに要する事。
九、布を破るに要する事。
十、布を破るに要する事。
十一、布を破るに要する事。
十二、布を破るに要する事。
十三、布を破るに要する事。
十四、布を破るに要する事。
十五、布を破るに要する事。
十六、布を破るに要する事。
十七、布を破るに要する事。
十八、布を破るに要する事。
十九、布を破るに要する事。
二十、布を破るに要する事。
二十一、布を破るに要する事。
二十二、布を破るに要する事。
二十三、布を破るに要する事。
二十四、布を破るに要する事。
二十五、布を破るに要する事。
二十六、布を破るに要する事。
二十七、布を破るに要する事。
二十八、布を破るに要する事。
二十九、布を破るに要する事。
三十、布を破るに要する事。
三十一、布を破るに要する事。
三十二、布を破るに要する事。
三十三、布を破るに要する事。
三十四、布を破るに要する事。
三十五、布を破るに要する事。
三十六、布を破るに要する事。
三十七、布を破るに要する事。
三十八、布を破るに要する事。
三十九、布を破るに要する事。
四十、布を破るに要する事。
四十一、布を破るに要する事。
四十二、布を破るに要する事。
四十三、布を破るに要する事。
四十四、布を破るに要する事。
四十五、布を破るに要する事。
四十六、布を破るに要する事。
四十七、布を破るに要する事。
四十八、布を破るに要する事。
四十九、布を破るに要する事。
五十、布を破るに要する事。
五十一、布を破るに要する事。
五十二、布を破るに要する事。
五十三、布を破るに要する事。
五十四、布を破るに要する事。
五十五、布を破るに要する事。
五十六、布を破るに要する事。
五十七、布を破るに要する事。
五十八、布を破るに要する事。
五十九、布を破るに要する事。
六十、布を破るに要する事。
六十一、布を破るに要する事。
六十二、布を破るに要する事。
六十三、布を破るに要する事。
六十四、布を破るに要する事。
六十五、布を破るに要する事。
六十六、布を破るに要する事。
六十七、布を破るに要する事。
六十八、布を破るに要する事。
六十九、布を破るに要する事。
七十、布を破るに要する事。
七十一、布を破るに要する事。
七十二、布を破るに要する事。
七十三、布を破るに要する事。
七十四、布を破るに要する事。
七十五、布を破るに要する事。
七十六、布を破るに要する事。
七十七、布を破るに要する事。
七十八、布を破るに要する事。
七十九、布を破るに要する事。
八十、布を破るに要する事。
八十一、布を破るに要する事。
八十二、布を破るに要する事。
八十三、布を破るに要する事。
八十四、布を破るに要する事。
八十五、布を破るに要する事。
八十六、布を破るに要する事。
八十七、布を破るに要する事。
八十八、布を破るに要する事。
八十九、布を破るに要する事。
九十、布を破るに要する事。
九十一、布を破るに要する事。
九十二、布を破るに要する事。
九十三、布を破るに要する事。
九十四、布を破るに要する事。
九十五、布を破るに要する事。
九十六、布を破るに要する事。
九十七、布を破るに要する事。
九十八、布を破るに要する事。
九十九、布を破るに要する事。
一百、布を破るに要する事。

友仙染専用
ひきこ
一板ふり粉
一はぶたい粉
一中粉
外に禁物用
右安價販賣いたし候一以以上遠近に拘らず配達仕候
御用命の程願上候
友仙染専用
ひきこ
一板ふり粉
一はぶたい粉
一中粉
外に禁物用
右安價販賣いたし候一以以上遠近に拘らず配達仕候
御用命の程願上候

印伴天風 染業家の一大福音
呂敷手拭
昔年ヨリ糖ノ脂肪末焼灰焼等ニテ糊下ニ曇色ヲ帯ビ苦痛セラレテ
アルモ今同回鹽化蘇土ノ輸入ニ依リ在来ノ苦痛ハ一掃セテ
鹽化蘇土ノ特長ハ簡便切レ共ニ至ツテ良ク雨天續キ又ハ暑氣ニモ
糊腐敗更ニナク水洗脱糊速カニシテ純白コ染付キ得テ進化的白色染
料ナリ實物御試染ツセツ
(詳細説明書進呈)
鹽化蘇土 一LB入五拾錢 十LB入四圓百廿八入 四拾五圓六拾錢
B鹽化蘇土 一LB入六拾錢 十LB入五圓百廿八入 四拾八圓
京都市三條通堀川東入
竹谷染料店
電話中二八二番
電話大阪五二二番

京都染物同業組合月報

友仙染専用
ひきこ
一板ふり粉
一はぶたい粉
一中粉
外に禁物用
右安價販賣いたし候一以以上遠近に拘らず配達仕候
御用命の程願上候

公示

公示第一號
左記ノモノ職工徒等契約ノ締結シ登記ノ手續ヲ
了セテ此旨公示
大正十五年一月十五日
京都染物同業組合
組長 八木伊三郎

- 友仙染部員近藤百合之丞職工
- | | |
|------------|-------|
| 水谷利三郎 | 串清吉 |
| 平井三太郎 | 宮永正一 |
| 大江宇一郎 | 三田村寅吉 |
| 青木仙太郎 | 簡見廣吉 |
| 野村覺太郎 | 吉田重太郎 |
| 張物部員 鈴木重吉 | 北村庄太郎 |
| 友仙染部員青木仙太郎 | 幸明清作 |
| 近藤百合之丞 | 山口庄八 |
| | 金澤久平 |
| | 小田石松 |
| | 小田金太郎 |
| | 石川銀太郎 |

- 友仙染部員近藤百合之丞職工
- | | |
|------------|-------|
| 水谷利三郎 | 串清吉 |
| 平井三太郎 | 宮永正一 |
| 大江宇一郎 | 三田村寅吉 |
| 青木仙太郎 | 簡見廣吉 |
| 野村覺太郎 | 吉田重太郎 |
| 張物部員 鈴木重吉 | 北村庄太郎 |
| 友仙染部員青木仙太郎 | 幸明清作 |
| 近藤百合之丞 | 山口庄八 |
| | 金澤久平 |
| | 小田石松 |
| | 小田金太郎 |
| | 石川銀太郎 |

公示第二號
左記ノモノ組合定款第十六條ニヨリ展借契約ヲ
解除セテ此旨公示
大正十五年一月十五日
京都染物同業組合
組長 八木伊三郎

公示第三號
左記ノモノ組合定款第十六條ニヨリ展借契約ヲ
解除セテ此旨公示
大正十五年一月十五日
京都染物同業組合
組長 八木伊三郎

- 友仙染部員近藤百合之丞職工
- | | |
|------------|-------|
| 水谷利三郎 | 串清吉 |
| 平井三太郎 | 宮永正一 |
| 大江宇一郎 | 三田村寅吉 |
| 青木仙太郎 | 簡見廣吉 |
| 野村覺太郎 | 吉田重太郎 |
| 張物部員 鈴木重吉 | 北村庄太郎 |
| 友仙染部員青木仙太郎 | 幸明清作 |
| 近藤百合之丞 | 山口庄八 |
| | 金澤久平 |
| | 小田石松 |
| | 小田金太郎 |
| | 石川銀太郎 |

Table with 2 columns: Recipient Name (受賞者人名) and Amount (賞金). Lists names like 永田 じつ, 山田 三郎, etc., and their respective award amounts.

賞金 八木伊三郎
組長 八木伊三郎
大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

Table with 2 columns: Recipient Name (受賞者人名) and Amount (賞金). Lists names like 小林 房太郎, 山田 三郎, etc., and their respective award amounts.

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

京都市染物同業組合... 賞金 八木伊三郎... 大正十五年一月廿五日

成功の見込みは現在如何なるに於てか此點は法
適用の至るモノを以て然りとす野松大郎
氏一其初ノヲ新業ニ起ルアルヲ又學問上ノ
素養ナクシテ熱心ニシテ此結果ヲ得タルハ
偉大ニシテ志士傳中人格トシテ其功勞ヲ
認ムルハ十分ナリト信ス
○同業組合明治三十七年三月工場ヲ擴張シ
テ新工場ヲ以テ世人ハ常ニ注目シテ其成否
ヲ危ミタリシモ其事業ハ着々進行シ製品數月
々重々増テフルニ隨ヒ増々莫大トナリシヲ見
テハ之ニ倣ハントスルモノ相續テ起リ機械工業
ニ轉セシモノ明治三十九年以降年々其數ヲ加ヘ
大正十二年末ノ調査ニヨリ工場數ニシテ二十一
ヶ所ニ達シ工場ノ資本金少キモノ拾萬圓ヨ
リ多キモノ百萬圓ニ及ブモノアルニ至リ其機械
數小巾用五十臺大巾用五十一臺ニシテ其生産
數一ヶ年二千六十八萬九千四百四十九此生産
數百五拾七萬餘千百拾圓ノ統計ヲ示シ居レリ其
茲ニ至リシ所以ノモノハ時代ノ要求ニ起因セル
モノナルヘシト雖モ所謂一人起リテ一國振フノ
格言ハ初メテ茲ニ實現セルヲモテハモトモトセリ
其功ノ幾分ハ菅野松次郎氏ヲ推シハ亦當然ナラ
ン

○本年各博覽會は左の通り開催せらるる若し
出品希望は豫め御申込められし然れども三月十
九日より六十日間化學工業博覽會(東京)、四月
一日より四十日間全國産業博覽會(姫路)、三月
二十日より三十日間國產共進會(大分縣大牟田)
三月二十日より六十日間國產共進會(市岡)
○化學工業博覽會は當組合の出品として賛同
を表するは如何と思ふも希望多敷なることは其
取扱をなす等なり
○計器買取附品改正 京都府に於ては度量衡
の改正に伴ひ蒸氣を以て附屬する計器の改正
を行はしむる旨にて各工場に現在使用せる計器
器は十中の八九迄は無檢定のものを以て此
際之を一掃せしめ完全なる檢査済のものを使用
せしむる旨にて左の心得書を發表せり若し之
實行を肯んせざるものに對しては直ちに告發す
べしとの事ゆへ十分の注意ありたきものなり
心得事項
一、計器(壓力計、真空計、磅秤計)ハ免許
ヲ受ケタル販賣者ニ非ラザレハ販賣スルコ
ト得ス
二、工場ヨリ計器買取付方ノ依頼ヲ受ケル事ハ
差支ナレ
但シ自己ノ名ニ於テ之ヲ購入シ工場ニ轉
賣スルコト得ス
三、若シ工場ヨリ買取付方ノ依頼ヲ受ケタルハハ
計器ノ購入ハ必ス工場主ヲシテ免許販賣
者ヨリ購入セシムヘシ
四、製造工場其他汽機汽罐ニ附スル計器ハ今
年一月一日ヨリ檢定付ノモノタルヲ要ス
但シ其ノ汽機汽罐ノ計器ハ法令ノ規定
(製造場檢定期等)又ハ取引上(瓦斯販
賣用ノ計器等)ニ依リテ買取付ヲ要スル
モノニ限リ檢定ヲ受ケタルモノナルコトヲ
要ス
五、京都府下計器ノ重ナル免許販賣者
島津製作所 三宅 宗 七
百木伊之助 小山長兵衛
北村長兵衛 柳本富五郎
島田安一郎 長井電機賣場

京都染物同業組合月報

發行編輯人 新野眞
印刷人 森本文次郎
發行所 京都府京都市下京區船場町下
電話本局一六七七番

○公示第五號
左記ノ者職工徒弟契約ヲ締結シ登記ノ手續ヲ了
シタリ此旨公示ス
大正十五年二月廿五日
京都染物同業組合
組長 八木伊三郎
浸落調整部員東原眞之助 徒弟 淺井 正太郎
小紋染部員木重次郎 徒弟 青池 重雄
淺色技部員宮本 傳藏 徒弟 奥山 龜男

○公示第六號
左記ノ者職工徒弟契約規定ニ準ジテ低價スル
モノニ付組合員ニ於テ使僱スルコトヲ停止ス
大正十五年二月廿五日
京都染物同業組合
組長 八木伊三郎
友仙染部員日比野誠吉 徒弟 東山 利信
小紋染部員野口梅次郎 徒弟 西川 啓次
淺色技部員西脇甚三郎 徒弟 岡部 金四郎
友仙染部員山崎石衛門 徒弟 金 延 煥

○公示第七號
左記ノ者職工徒弟契約規定ニ準ジテ低價スル
モノニ付組合員ニ於テ使僱スルコトヲ停止ス
大正十五年二月廿五日
京都染物同業組合
組長 八木伊三郎
友仙染部員日比野誠吉 徒弟 東山 利信
小紋染部員野口梅次郎 徒弟 西川 啓次
淺色技部員西脇甚三郎 徒弟 岡部 金四郎
友仙染部員山崎石衛門 徒弟 金 延 煥

品名	改正率	現行率
阿 膠	三、五	二、七
ゼ ラ チ ン	一六、三	一〇、〇
魚 肝 油	七、〇	四、〇
黃 燐、赤 燐、硫化燐	無稅	無稅
酒 石 炭 酸	無稅	無稅
酒 石 炭 酸 及 アセチル	無稅	無稅
焦 性 炭 酸	一、〇〇	一、〇〇
焦 性 炭 酸 及 アセチル	一、〇〇	一、〇〇
苛 性 炭 酸	一、〇〇	一、〇〇
苛 性 炭 酸 及 アセチル	一、〇〇	一、〇〇
(一)精製のもの	二、八〇	七、二五

印伴天風 染業家の一大福音

呂敷手拭

昔年ヨリ糠ノ脂肪末焼灰焼等ニテ糊下ニ曇色ヲ帯ビ苦痛トセラレ
アルモ今回鹽化蔭土ノ輸入ニ依リ在來ノ苦痛ハ掃セリ
鹽化蔭土ノ特長ハ簡糊刷切レ共ニ至ツテ良ク又ハ暑氣ニモ
糊腐敗更ニナク水洗脱糊速カニシテ純白ノ染料キ進化的白色染
料ナリ實物御試染ヲ乞フ

(詳細説明書送呈)

鹽化蔭土 發賣元	一LB入五拾錢 十入LB四圓 百廿入 四拾五圓六拾錢
B 鹽化蔭土	一LB入六拾錢 十入LB五圓 百LB入 四拾八圓

京都市三條通堀川東入

友仙染専用

一板ふり粉
一はぶたい粉
一中 粉
外に焚物用

右安價販賣いたし候一呎以上遠近に拘らず配達仕候
御用命の程願上候

京都市外嵯峨町濱通
發賣元 細川金次郎

住 竹谷染料店

電話中三八二番
電話外九五一番

曹達灰及天然曹達	0.5	從價二割	其の他	無稅	從價二割
重炭酸曹達	0.5	從價二割	(一)精製のもの	無稅	從價二割
過酸化曹達	0.5	從價二割	(二)其の他	無稅	從價二割
硫磺曹達	1.5	從價二割	硅酸曹達	1.00	從價二割
			青化曹達及青化加里	無稅	從價二割
			硝酸加里(硝石)	無稅	從價二割
			クロール酸加里	無稅	從價二割
			重クロム酸加里	無稅	從價二割
			過マンガン酸加里	無稅	從價二割
			過酸化バリウム	無稅	從價二割
			過酸化水素	無稅	從價二割
			フエリ青化曹達	無稅	從價二割
			フエリ青化曹達	無稅	從價二割
			フエリ青化加里(黃色血鹼)	無稅	從價二割
			フエリ青化加里(赤色血鹼)	無稅	從價二割
			酸石灰	無稅	從價二割
			アセトシ	無稅	從價二割
			フオルマリン	無稅	從價二割
			精(每一リットル)	無稅	從價二割
			重炭酸曹達	無稅	從價二割
			精	無稅	從價二割
			變性精酒(每一リットル)	無稅	從價二割
			クラセリン	無稅	從價二割
			ロシガリワット、ブランキワット、デクロリン	無稅	從價二割
			其の他の類似還元劑	無稅	從價二割
			アルナル酸曹達及サルナル酸曹達	無稅	從價二割
			チオブロミン	無稅	從價二割
			安息香酸曹達	無稅	從價二割
			ベンゾール、トルオール、ダイロール、	無稅	從價二割
			サルベントナフサ、アンストラセン、カー	無稅	從價二割
			バゾール、クレオソート油、其他別號に掲げ	無稅	從價二割
			ざるロールタール分溜物	無稅	從價二割
			アルコール分溜物より誘導したる化學	無稅	從價二割
			的生成品(ベンザルデハイド、ニトロ	無稅	從價二割
			ベンゾール、ニトロトルオール、以外の	無稅	從價二割
			香料、石炭酸、サルナル酸、ペーカラ	無稅	從價二割
			イト及醫藥を除く	無稅	從價二割

アンチフエブラシ	從價二割五分	從價二割五分
(染料、顔料、塗料及填充料)		
天然藍	三、七〇	三、七〇
(一)乾きたるもの		
(二)液狀又は泥狀のもの從價二割		
ログウード、エキス	無税	從價五分
人造藍	四、〇〇	從價二割
別號に掲げざる合成染料		從價三割五分
(一)鹽基性染料	一、五〇	
(二)直接染料	二、〇〇	
(三)酸性染料	二、五〇	
(四)媒染染料	一、八〇	
(五)硫化染料	六、〇〇	
(六)建染染料	一、八〇	
(七)油解染料	二、〇〇	
(八)其他從價三割五分		
酸化コバルト(吳須を含む)三、八〇	無税	無税
銀液及白金液	無税	無税
青銅粉、アルミニウム粉其他別號に掲げざる	二、八〇	二、八〇
類似の金屬粉	二、四〇	九、二五
プロシアン、ブルー	二、七〇	三、一五
群青	二、八〇	二、一〇
鉛白、鉛丹及リサージ	〇、八〇	從價二割五分
亞鉛白(酸化亞鉛及硫化亞鉛)	四、五〇	從價二割五分
硫酸バリウム	二、五〇	從價二割五分
リソボン	一、九五	一、九五
カーボンブラツク	二、四〇	無税
ヴァニツシュ	無税	無税
コールタール	無税	無税
墨(容器共)	二、六〇	九、九〇
イシキ		
(一)寫字用又は筆記用のもの(容器共)	八、五	八、五
(二)印刷用のもの		
(甲)液狀又は泥狀のもの		
(甲)の(一)樽入のもの	三、四五	三、四五
(イ)黑色のもの	三、四五	三、四五
(ロ)其他從價二割五分		從價二割五分
(甲)ノ(二)其他容器共	二、五〇	二、五〇
(乙)固形のもの	二、五〇	二、五〇

◆人造絹糸染色法

一、「グキスコース」雨傘

「グキスコース」相模

「グニスコース」絹の染色法を

水に入るゝと甚だしく強力を減

は染色に困難を來す原因である

カリには極めて弱いものであ

は低温でも頗る染み易いもので

一般に「ダキスコース」絹は直

色せらる。染液は出来る丈け少

ば濃厚な染浴を必要とし芒硝五

温度五十度(攝氏)乃至六十度に

れば芒硝を一〇％位に減じてよ

れはさ碁を一〇分位に減じてよ
を添加し中色濃色には約一時間

を注加し中色濃色には約一時間均等染色を容易にするため又は

均等菜色を容易に得るため又は

すためモノポール石鹼を賞用す

合で糸に斑があるために均等染

車がある

鹽基性染料も亦用ひ得らる又水

は酸性染料を用ふるもよい

鹽基性染料で染色するには先づ

ちして置く、染浴は中性とし、

時間染色する、必要あらは三十

度にも昇すが斯くては取扱いに

度にも昇すが、斯くては取扱ひに

のど知らねはならぬ、染料は現
ものを用ひ幾回にも洗濯して延

ものを用ひ幾回にも追加して斑

(一) コフバーベイント、インターナショナル
 コムボジション、アンチフオーラング・コム
 ボジション、アンチコロチグ・ベイント其他
 類似の船底塗料 七、四五 六、二五
 (二) パタント、ドライヤー、五、八〇 二、八〇
 (三) エナメル、ベイント 二七、一〇 二三、二〇
 (四) 其の他
 (甲) 一箇の重量容器共六キログラム
 を超わざるもの、一三、一〇 六、四〇
 (乙) 其の他 九、二〇 四、一〇
 茶染部
 部長 北村平三郎 副部長 原 民三郎
 會計 渡邊 清治
 部會代議員
 海田市太郎 桂 甚 助 長谷川万次郎
 畑 清次郎 一ノ瀬治三郎 中村貞次郎
 長谷川幸太郎 上田久太郎 奥田平兵衛
 引染部
 部長 三浦 秀造 副部長 小谷 淺吉
 會計 中川 與三郎
 部會代議員
 西村有三郎 松本甚太郎 吉安龍太郎
 山本與三吉 今坂正次郎 松村新之助
 烟 季次郎
 形彫部
 部長 兒玉 末次郎 副部長 野村松太郎
 會計 市川 仙吉
 部會代議員
 小林延藏 瀧下善太郎 齋藤次郎七
 北村嘉一郎 中野 音吉 宇野 米吉
 前田 榮吉 三 枝 弘 水本熊次郎
 余田 太七 寺谷 平三郎 宮原 彌助
 三輪彌三郎 中井 源次郎
 湯熨斗部
 部長 大森 新太郎 副部長 北村 市次郎
 會計 田中 宗次郎

牧野市三郎 八田 善七 荒木留三郎
安田新太郎 木村 亮三 畑 久吉
川村 末吉 中西勘三郎 寺井長三郎
弓倉儀三郎 三輪伊兵衛 野崎龜三郎
紅染部
部長補缺 湯口 晋七
絹帛友仙區
幹事 松岡 健太郎 副幹事 山本秀三郎
堤 品 會計 北井 睦吉
監査役
森田菊之助 目井久太郎 岡島 重助
中島眞三郎 長澤英太郎
上海駐在副領事の報告 副領事加藤日吉氏より左の報告ありたり關係を有する染業家の注意を要す
最近取扱業者の増加に因る競争激甚薄利なるに鑑みアニリン染に對し商内しながら硫化染を引渡す如き策を弄する者有之やに聞及ぶも右は品質を低下するのみならず朱子本來の信用を失するものにして當事者の大に憂ひ居る處なり尤も硫化染の工費が前者の約半額に相當し而も市場に於て同値にて賣行くものとせば商人としてむづ利益多き後者に乗り移るの移動性なきにしもあらず然しながら這は折角當業者の努力に依り擴張せられたる本品の販路に著しき影響を及ぼすものにして既に其例乏しからずされば細數細布の如き下級品は兎も角五枚朱子八枚朱子又網代等の如き準高級品は從前よりアニリン染とし將來と雖ども硫化染とせざるを要なり云々
各部決算及豫算 紋上書部及洗色抜部に於ける大正十四年度部經費收支決算及大正十五年度の豫算は左の通り申合せり
○紋上書部決算及豫算
大正十四年度決算報告
收入之部
一金四百六十七圓貳拾貳錢
内 譯
金貳百五拾七圓七拾貳錢
金百拾七圓五拾錢
金九拾貳圓
支出之部
部費徵收高
組合補助金
寄附金

公 告

近來染織ノ名ヲ冠シタル各種ノ新聞ハ發行セラ
レ其都度當組合及關係役員ガ之ニ援助ヲ與ヘ居
ルモノ、如ク其氏名ヲ連載シ又一方之ヲ利用シ
テ組合員ヘ廣告掲載ヲ強請スルモノ有之趣キナ
ルモ組合及役員ハ何ラノ關係ナキモノナレハ此
旨公告致置候

京都染物同業組合



公 示

左記ノ職工徒弟契約ヲ締結シ左記ノ手續ヲ
了シテ此旨公示ス
大正十五年三月廿五日
京都染物同業組合

組長 八木伊三郎

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

吉井千代松

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

吉井千代松

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

美はしい黄色に染る
二、斯くの如く染色した糸を亞硫酸液で三分強
液十分、水十分の溶液に五分間浸漬すれば色
は鮮やかに變る一度水洗してぬるき顔色液に通
じ十分乃至三十分間浸漬し顔色液の濃度によりて
種々の色相を表はすこと大表の様である

發行所 京都染物同業組合事務所
電話 本局一六七七番

公 示

左記ノ職工徒弟契約ヲ締結シ左記ノ手續ヲ
了シテ此旨公示ス
大正十五年三月廿五日
京都染物同業組合

組長 八木伊三郎

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

吉井千代松

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

吉井千代松

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

あるとグラムランは赤色に相の方は其のまゝで
ある、引揚げて水洗し過剰のベタ、ナフトール
を洗ひ去りアルファ、ナフトール、イソアル
の顔色液に三十分間浸漬せば顔色は黒色となり
赤色は其のまゝにあるから黒地に赤色の紋様が
得らるゝ、若しアルファ、ナフトール、イサ
ルを最初に用ひレゾルシンを後に用ひるゝと木
綿は青色に顔色に染色せらるゝ
斯くの如く此種染料を用ひて酸液染料と綿又は
「グキスコース」絹の交織布を染色すれば一浴
で二色染を容易に行ひ得られ然れども其色相は堅牢
なるが故に將來注目し得るものと思はれる

印伴天風 染業家の一大福音

昔年ヨリ糖ノ脂肪末焼灰焼等ニテ糊下ニ曇色ヲ帶ビ苦痛トセラレツ
、アルモ今回鹽化蘇土ノ輸入ニ依リ在來ノ苦痛ハ一掃セリ
鹽化蘇土ノ特長ハ簡糊刷切レ共ニ至ツテ良ク雨天續キ又ハ暑氣ニモ
糊腐敗更ニナク水洗脱糊速カニシテ純白コ染付得ル進化的白色染
料ナリ實物御試染ヲ乞フ
(詳細説明書進呈)

鹽化蘇土 一LB入五拾錢 十入LB四圓 百入LB四拾五圓六拾錢
B 鹽化蘇土 一LB入六拾錢 十入LB五圓 百入LB四拾八圓

鹽化蘇土 發賣元 住 竹谷染料店

電話 中三八二番

二谷彌生職工
森 鈴一
與 新太郎
田 島友次郎
上 野 助化
伊 藤 甚吉
藤 本忠次郎

公 示

左記ノ職工徒弟契約ヲ締結シ左記ノ手續ヲ
了シテ此旨公示ス
大正十五年三月廿五日
京都染物同業組合

組長 八木伊三郎

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

吉井千代松

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

吉井千代松

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

雜 錄

八木組長外陳情委員酒井源三郎職工
友仙染部員酒井源三郎職工
大橋 茂職工
三輪 庄太郎
長谷川 清一
中島 正一
吉井千代松

友仙染部員酒井源三郎職工

大橋 茂職工

三輪 庄太郎

長谷川 清一

中島 正一

